

第22回 ベイタウンまつり

5月18日(土)、今年もベイタウンまつりが開かれました。まつりは今回で22回目。みなさん楽しめましたか。でも、何といても一番楽しかったのは子どもたちでしょうね。取材して歩いているとあちこちで子どもたちの笑顔に出会いました。初めてフリーマーケットでお母さんや友達と一緒にお店をだして店員体験をする女の子。見たこともないほどのポケモンのカードを前にして、パニックになりながらもお店を回る男の子。まだ新しい制服の中学生たちはこの春まで小学校で一緒だったクラスメートと会えるのを楽しみにプロムナードを歩いているようです。出会いや楽しみや職業体験もあるベイタウンまつりは子どもたちにとって、本当に待ち遠しいイベントのようです。



【写真上左】ベイタウンまつりといえばフリーマーケット。今年もプロムナードは住民個人出店の店で埋められました。これはもうベイタウンの文化です。【写真上右】こちらも毎年行列ができるジャイネパールさんのかき氷。

写真上は打瀬中の2年生諸君。実は彼らのうち何人かは昨年のEX講座でベイタウンニュースの講座を受けてくれました。まだ半年しかたっていませんが、すっかり大人になり、驚きました。こういう出会いがあるのもベイタウンまつりの楽しみです。



上の写真2枚は社会福祉協議会地区部会が毎年行う模擬店(フランクフルト)。焼きそばを出していたシニアクラブ時代からベイタウンまつりには必ず出店しています。「20回以上やっているけど、毎年忙しくてプロムナードのまつりは一度も見ることがない」

ベイタウン温泉(?) 建設工事はじまる

日本サッカー協会(JFA)が幕張の浜に建設中のトレーニング場「夢フィールド」に併設される温泉施設の建設工事が始まりました。場所は幕張の浜で、ベイタウンからはちょうど3丁目公園(スポーツ公園)の海側に当たります。JFAが公開したドローンによる上空からの写真では幕張の浜の松林が途切れる辺りが施設の建設場所となっていて、温泉を掘削していた井戸の部分も施設内に含まれています。

この記事を書いている5月末の時点ではまだブルドーザーや小型の重機を使っての整地作業中で外観は分かりませんが、周囲がフェンスで囲まれているので施設の大きさは想像できます。一般の人がランニングやトレーニングにも利用できる「健康」をテーマにした日帰り天然温泉施設というだけあって規模は意外に大きいようです。

ベイタウンから見ると時々小型のショベルカーが忙しく動いている程度で大きな音も聞こえませんが、やがてクレーンなど大型の重機が動くようになると殺風景だった幕張の浜の景観も変わり、ベイタウンからは散歩の帰りに食事と一風呂を楽しめるような場所ができることになりそうです。開館予定は来年3月です。



子ども記者が伝える

今僕の学校では…

打瀬中学校 1 年生

No. 31

打瀬中学校編

をしながらやっています。なので 5 月 24 日がとても楽しみです。

最後になりますが、地域のみなさま、今後とも千葉県立打瀬中学校第一学年をよろしくお祈りします。

校外学習副実行委員長 1-G【米山 隼人】

5 月 24 日に打瀬中学校 1 年生は校外学習を行います。昨年と同様に今年もマザー牧場に行きます。今年の校外学習のスローガンは「協力・学習・礼儀」となっています。スローガンの協力という言葉の意味を説明します。校外学習ではおもに班別に行動することになっています。そして、その班の中で仲間と共に協力しあい仲間と共に楽しんでいくことで友情を深めていけるのではないかと思います。「協力」という言葉を選びました。次にスローガンの学習という言葉の意味を説明します。マザー牧場では花畑などいろいろなところで自然とふれあうことができます。マザー牧場という場所を通して、自然とより近くでふれあうという意味もこめられています。また、校外学習というのは遊びではなく校外学習という言葉にもあるように学習をしなければいけません。その学習ということを忘れてはいけないという意味も学習という言葉につけられています。最後にスローガンの礼儀という言葉の意味を説明します。マザー牧場ではいろいろな人にお世話になると思います。そのような人に対して「ありがとうございます」や「いただきます」、「ごちそうさま」などの感謝の言葉をしっかりと伝えられるようにしなければいけません。そのような言葉を素直に言えるようにしてほしいという意味をこめてこの言葉にしました。校外学習がより良い行事になるようにがんばりたいと思います。

今月は 4 人の打瀬中 1 年生が、中学生になった決意や感想を書いてくれました。

中学生になって

学年生徒会長 1-G【櫻田 珠希】

中学校は部活も始まり、授業も小学校より難しく定期テストもあります。つまり、小学校の頃とは生活が大きく変わってきます。そして、最初はその新しく始まった生活に早く慣れ、やることをしっかりとやるというのが私の目標でした。

しかし、その目標は担任の先生の言葉で大きく変わりました。中学校に入学してすぐ先生はクラスみんなに「やらないで後かいするよりやって後かいしろ」と言われました。

よく耳にしそうな言葉ですが、私はその言葉を聞いて、やることをしっかりとやったらうで失敗をおそれずもっといろいろなことに挑戦してみようというのが目標になりました。だから、今まで大きな責任を背負う役などには自分から立候補しなかったけれど勇気を出し学年生徒会長になろうと決意し手を挙げることができました。学年生徒会長になることが、できたのは担任の先生の言葉があったからだと思います。これからも先生の言葉を忘れずにいろんなことに生かしたいです。

やるべきことをしっかりとやり、たくさん挑戦し最終的に「あの時〇〇しといて良かったな」と思えることがたくさんある中学校生活をしていきたいです。

中学生になって

学年生徒会副会長 1-C【小林 慧】

小学校が終わったとき、中学校生活が楽しみでしたが、「友達出来るかな」や「先輩はどんな人かな」などの不安もありました。でもフレンドリーな人が多く、先輩もおもしろく優しい人がたくさんいたので安心しました。教室が移動するしくみも最初は迷子になりましたが、だんだん慣れてきて、何の教室がどこにあるのか覚えられました。

部活動は、小学校の時から決めていたテニス部に入りました。打瀬中には硬式テニス部と軟式テニス部がありましたが、仲の良い友達が硬式の方に入ったのでぼくも硬式にしました。ぼくは運動がとても苦手なのでテニスをして体を動かそうと思っています。部活での仲間はクラスの仲間よりも絆が深まると思うので友達を大切にしていきたいと思っています。

来月中学校で初めての定期テストがあります。順位が出るので、納得いく結果が出せるように苦手な所をなくしていきたいです。

これから体育祭や音魂祭などの行事がありますが、何事にも全力で取り組み、思いっきり中学校生活を楽しみたいです。

中学生としての校外学習

校外学習実行委員長 1-E【軽部 航太郎】

令和元年 5 月 24 日に行われる校外学習へ向けて僕達実行委員会は準備をしてきました。第一回の実行委員会で決めたスローガンの「協力・学習・礼儀」これにどうやって近づいていくのか。たくさんの検討事項を何度も「これはちがう」でも「これをアレンジしてはどうか」などと何回も協議してきました。

そもそも、小学校の頃は先生がルールを決め、しおりを作り、それにそって行動するというものでした。ですが、今はちがいます。実行委員長が中心となり、学年全体で進めていきます。一人抜けても足りません。学年全体が共同体であり、チームだと思っています。そう、今回のスローガンの一つでもある、協力です。

今回、その共同体 265 人のリーダーに就かせていただきました。始めは緊張しましたが、今は、頼れる実行委員のみんなとそして協力してくれる 256 人の仲間たちがいます。ですから、緊張などなく、感謝

ベイトウン・セイヨウツキミソウ物語

5・8・10 番街交差点の傍、駐車場の金網下に白い花が並んで咲いています。駐車場と歩道の境目のとても狭いスキ間に、雑草に混じって 20～30m ほどの間に並んで咲いている姿は通る人に思いがけない安らぎを与えているようです。

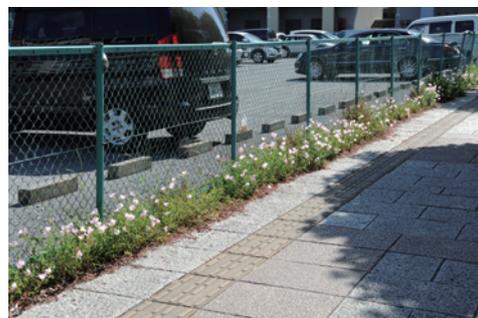
この花はセイヨウツキミソウ。とても強い花のようで在来の雑草たちにも負けずに咲き続けています。僕の知る限りこの場所でもう 20 年も咲き続け、周りにはこの花は見られないのに、毎年途切れることなく美しい姿を見せてくれています。

実はこの花がここに咲くようになったのは、ちょっとした物語があります。この花はもともと打瀬中学校の周りにたくさん植えられていました。植えたのは打瀬中の元校長の渡辺先生。植物が好きだった先生は打瀬中の周りにたくさんの種類の花を植えました。最初はどれも強風のため根付きませんでした。理科教師だった先生は潮風に強く、打瀬中でも風に負けず育つ花を探し、いくつか見つけた花のひとつがこの

セイヨウツキミソウだったのです。打瀬中の周りは先生の在任中はずっとこの花が今の季節には咲き乱れていました。

それを知って打瀬中からこの花をこの駐車場脇に植えたのが、今は故人となった 8 番街の砂原さん。シニアクラブの代表であった砂原さんは殺風景な駐車場脇を綺麗にしたいと思い、この花を数株植えました。それから 20 年。最初は交差点近くの一角に数株だった花はその後強風にも、他の雑草にも負けずに広がり、今のようになりました。

今もこの花を見る度に砂原さんや当時のことを思い出します。



幕張インターナショナルスクール 10周年

毎朝、MISというマークの入った緑色のリュックを背負って、消防署横の道を楽しそうに自転車や徒歩で登校していくのは、幕張インターナショナルスクールの園児・児童たちです。そのインターナショナルスクールが今年度で創立10周年を迎え5月15日(水)午後、記念式典が開かれました。【小原】

式典に先立って、5月の陽光とさわやかな風の中で植樹祭が行なわれました。植えられたのはハナミズキの木。すくすく育てて枝葉を伸ばし、幕張の地にしっかり根付いて行くことでしょう。

式典では、様々なあいさつや祝辞、感謝状贈呈のあと、児童・教員による管楽器アンサンブル、弦楽器アンサンブルの合奏やグリークラブの合唱が披露されました。どのパフォーマンスも一生懸命でとても微笑ましく、日頃の伸びやかな教育の一端を見せてもらいました。この学校の10年の成果(創設に関わる準備期間を含めると13年)をこの子供たちの成長した姿で確認し共に祝う、とても晴れやかな式典でした。

さて、このインターナショナルスクールは、日本に4校しかない「学校教育法第1条の小学校の認可を受けた学校」という点が最大の特徴です。日本語での授業もあり、法的にもカリキュラム面でも卒業生はスムーズに日本の中学に進学して勉強についていくことができているそうです。

では、なぜそのような学校が千葉県にあるのか。それは、堂本暁子前千葉県知事の幼少期の「帰国子女」としての経験が原動力となったからです。堂本さんは戦争直前に海外から帰国し、言葉が通じず、学校に馴染むのに苦労したそうです。そのため帰

国子女の教育をうまく橋渡しできるような場所を作ろうと活動しました。この功績をたたえて式典にて感謝状が贈呈されました。

さて、この幼稚園・小学校に通っているのは、外国籍もしくは二重国籍の園児・児童と、海外滞在期間が継続して6ヶ月以上の日本人の帰国子女、計380名。うち約140名がベイタウンから通っています。打瀬小学校の児童と交流する機会もあるそうです。

Trent Citrano(シトラノ)校長、Anthony Hall(ホール)副校長もベイタウン在住。副校長先生はご家族で本紙ベイタウンニュースの配布ボランティアをしており、2つの街区を担当しています。「日頃の恩返しです」とおっしゃっていました。学校生活では、やんちゃな子供たちの通学マナーにはとても気を遣っているということです。日本の学校でも通学マナーは重要指導事項の一つ。どこも



日本でもおなじみのハナミズキは意外にも外来種です。花言葉は「永続性」。MISの今後の末永い発展を祈念して選ばれました。

世界を目指す 打瀬中OB 富澤拓海君

「打瀬にもこんな猛者(もさ)がいるのか」そんな印象が残るインタビューでした。富澤拓海君は打瀬中卒業の22歳。同級生たちはちょうど今年の春大学をでて、社会人1年目という年代です。

富澤君は今も現役のプロサッカー選手にこだわって世界を飛び回る大学生です。子どもの頃からJリーガーを夢みる普通のサッカー少年でした。少しだけちがっていたのは彼の行動力でしょうか。中1のとき所属するクラブチームでスペインのサッカー遠征に参加したことが世界に目を向けるきっかけでした。「中2になって自分でメールアドレスをつくり、海外のチームに習ったばかりの英語でオフアメールを送りまくった」そうです。

もちろんこのときはまだ中学生の彼を受け入れるチームはなく、この試みは冒険談で終わるのですが、海外のサッカーチーム関係者と直接交渉した経験は彼に大きな自信と挑戦心を与えたようです。「絶対に海外でサッカーをやる」。そう心に決めた富澤君は大学入学の年から世界中のサッカー

クラブをまわります。

彼は自分のことを「世界一小さい、ちびキーパー」と公言します。確かに身長170cm以下という体格でゴールキーパーを目指すのは相当なチャレンジャーでしょう。でも彼は「190cmの選手ができて目立たないけれど、小さい選手ができれば余計目立つでしょう」とハンディを逆に自分の武器に変えています。身長が低いからあきらめようという思考はしないようです。

海外をひとりで転戦することは彼をいろんな意味で大きくしました。例えばお金のこと。年間8ヶ月も海外で生活するには費用もかかります。帰国する際の旅費も大変です。でもその費用の大半を今は自分で稼いでいるといいます。

一昨年にはクラウドファンディングで30万円を集め、彼の挑戦を支援するスポンサーを見つけて遠征費を稼いだそうです。今年は著名な海外のコーチを日本に招くために交渉役をつとめることもしています。

彼がこのまま夢をかなえてプロのサッ

同じですね。

この式典と祝賀会で何人かの関係者や先生方にお話を聞きました。創立から勤務しているホール先生からは、開校直前に園児のための三輪車などの遊具を皆で開梱、組み立てをして大忙しだったことを語ってくれました。「教員って子どもを指導するだけではないのだ」と当時戸惑ったようですが、日本人の職員と外国人の職員と文化の違いを超えて、ともにこの学校を手作りで育ててきたのだという愛情と誇りを感じました。

MISの皆さん。どうかこれからも愛情を日光のように浴び、様々な経験を吸収して大きくなって行って下さい。私もご近所さんとして、暖かく見守っていききたいと思ったのでした。

カー選手として活躍するかどうかは分かりません。でもインタビューをして感じたのは、夢に憑かれて追いかけていると、人はこんなにも大きくなるんだなということでした。もし僕が企業の採用担当者なら迷わず彼を選びます。がんばれ富澤君。

富澤君のFBページは：

<https://www.facebook.com/tomi.football>

HPは：<http://tomi-footballer.net/>





●夏休み「きもの&マナー教室」6/15 受付開始

(全6回 無料)

夏祭りや盆踊り、今年は自分でゆかたを着てみませんか！きものは世界に誇れる日本の伝統文化です。きものを装うことで日本人としての美しい所作やマナー（礼儀作法）を学んでみませんか？

日程：①8月18日(日)②8月19日(月)③8月22日(木)

④8月26日(月)⑤8月29日(木)⑥8月31日(土)

時間：Aクラス(13:00～14:30)

Bクラス(15:00～16:30) 場所：打瀬公民館和室

参加費：無料(テキスト/材料費500円)

対象：小学～中学生、保護者(定員：各クラス先着12名)

講座内容：ゆかたを自分で着て、帯結びもマスターします。

礼儀作法、和室でのマナー、かるたなどを学びます。

<申込み方法>

受付：6月15日(土)10:00～6月23日(日)

●こちらの申込みフォームより →

又は、bay.dentoubunka@gmail.com まで

件名「きもの&マナー教室」

①参加者名・保護者名(ふりがな)

②学校名・学年 ③電話番号

④住所 ⑤希望クラス

(Aクラス・Bクラス・どちらでも)

◇受付は先着順、定員に達し次第キャンセル待ちとなります。

<問い合わせ>

主催：幕張ベイタウン伝統文化和装礼法伝承の会

講師：公益社団法人全日本きものコンサルタント協会員

連絡先：電話 090-9567-8155 (富田)



親子で簡単飾り巻き寿司づくり

5月12日(日)の朝、公民館に行くのと安齋館長が調理室前で受付をしていました。そうか今日は公民館講座「親子で簡単飾り巻き寿司づくり」の日です。可愛い小学生たちを撮ろうと急いでカメラを取りに帰り取材しました。

この日集まったのは小学校1～3年生の親子10組20人。料理講座なので女の子ばかりかなと思ったのですが、なんと男の子も何人かいます。入り口付近の調理台でお寿司を巻いていたT君は美浜打瀬小の3年生。お母さんと一緒に来ていました。「これでいいの」とお母さんに相談しながらウサギの形の巻き寿司をうまく作っていました。

この講座、なんとインストラクターは全員打瀬公民館の職員さん。本物の「打瀬公民館主催講座」です。この日のために女性職員は全員で何度も特訓し、リーダーの藤谷さんは「飾り巻き寿司」のインストラクター資格までとって準備したそうです。



第34回ベイタウン音楽会 サマーコンサート

日時：6月30日(日)11:00～17:00 予定

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

ピアノ、チェロ、バイオリン、箏、パーカッション、歌のソロやアンサンブル、打瀬中吹奏楽と今回も多彩な演奏をお聴きいただけます。音楽溢れる1日をお楽しみください！

お問い合わせ：林(211-6008)

6月のベイタウンかふえ

日時：6月12日(水曜日)午後1:30～4:00

場所：地域連携センター(ベイタウン・コア横)

前半の部は、「安弾手(あんだんて)」の演奏と歌。初夏の風の中、歌って笑って楽しみましょう。

後半は、茶話会。ゲーム、ハンドマッサージ、回想新聞もあります。認知症の不安に応える専門家が常駐しています。遠慮なくご相談下さい。

問い合わせ：うたせ認知症を考える会

中澤(Tel: 211-0588)

キュービックカフェ 6月・7月のイベント・ワークショップ



毎月9日はキュービックの日！

『キュービックマルシェ』開催

<6月>2019年6月7日(金)11時～

(※8日から変更)

<7月>2019年7月9日(火)11時～

イベント詳細・お問い合わせ：キュービックカフェ

<https://www.cubic-cafe.com/>



6月のコア・イベント

わくわくおはなし会 6月の常設おはなし会

日時：6月15日 第3土曜日 午前10:30～

場所：ベイタウン・コア講習室

次回もわくわくするお話を用意してお待ちしています。年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね！予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>

お問合せ先：chibawaku2@freeml.com

第183回ファツィオリの会

日時：6月16日(日) 午前9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用を希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。聴きに来て頂くのは、自由です。

受付：6月9日(日)

申込先：メール hayamho@gmail.com (林)

寺子屋工作ランド

「紙笛」をつくろう

日時：6月22日 土曜日 午前9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア工芸室

小さな工作用紙でかわいい笛ができます。色紙できれいに仕上げます。

持ってくるもの：カッターナイフ、木工ボンド、えんぴつ、色紙

参加費：50円(保険料)